

～運動生理学の視点から、脳の健康を考える～

産業技術総合研究所四国センターでは、人の健康状態を計測して予知診断するための研究や、生活環境中の健康リスク因子を除去、無害化するための研究を推進し、健康で元気な四国の実現を目指しています。本セミナーでは、「運動が“脳”の健康に与える効果」をテーマに、最前線でご活躍される講師の先生方をお招きし、最新の知見をご提供頂く予定です。ご興味のある方は是非ご参加ください。

【日 時】 2025年3月6日（木） 13:00 ～ 16:00

【場 所】 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 四国センター  
管理棟1階 講堂（香川県高松市林町2217-14）  
オンライン併用のハイブリッド開催（Zoom）

【申 込】 以下の申込フォームから申し込みください。（2月28日（金）締切）

<https://zoom.us/meeting/register/883LY96sQCqlczI3WEI6iQ#/registration>

問い合わせ：産総研四国センター産学官連携推進室

E-mail：[s-renkei-jimu-ml@aist.go.jp](mailto:s-renkei-jimu-ml@aist.go.jp) TEL：087-869-3511（代表）



【講演者】

・運動時の脳活性と自律神経制御：遺伝子工学技術を用いた動物実験から

鳥取大学 農学部 共同獣医学科 基礎獣医学講座 教授

木場 智史 氏



・骨格筋の収縮とブレインヘルス

立命館大学 スポーツ健康科学部 健康科学領域 教授

橋本 健志 氏



・認知症予防における脳・循環生理学研究の最前線

国立研究開発法人産業技術総合研究所

人間情報インタラクション研究部門

身体情報研究グループ 上級主任研究員

樽味 孝 氏



## 【プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶 健康医工学研究部門 研究部門長 大石 勲

①13:05～13:55

【講演タイトル】 運動時の脳活性と自律神経制御：遺伝子工学技術を用いた動物実験から

【講師】 鳥取大学農学部 共同獣医学科 基礎獣医学講座 教授 木場 智史 氏

【講演概要】

運動時の自律神経制御を司る脳の活性について議論する。本課題に関する古典的研究から、最近の私たちの遺伝子工学の先端技術を用いた動物実験研究までを取り上げる。これにより、運動が脳の健康に与える効果を考察する。

②13:55～14:45

【講演タイトル】 骨格筋の収縮とブレインヘルス

【講師】 立命館大学 スポーツ健康科学部 健康科学領域 教授 橋本 健志 氏

【講演概要】

身体活動・運動が認知機能やメンタルヘルスといったブレインヘルスに及ぼす効果を『骨格筋の収縮』の観点から考える。

14:45～15:00 休憩（15 分間）

③15:00～15:50

【講演タイトル】 認知症予防における脳・循環生理学研究の最前線

【講師】 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域

人間情報インタラクション研究部門 身体情報研究グループ

上級主任研究員 樽味 孝 氏

【講演概要】

中高齢者の脳・認知機能に対する長期的運動習慣および運動介入の効果と、そのメカニズムとして循環器機能に着目して行った研究について紹介する。

15:50～15:55 閉会挨拶 産業技術総合研究所四国センター 所長補佐 竹内 準一